

# 市民の願いをかたちに、たしかかな力!

## 日本共産党

### 2012年 3月議会

積極的な提案で論戦リード

東日本大震災・原発事故から一年、多くのみなさんがいまだに避難生活を強いられ、放射能汚染の不安が広がっています。  
国の補助制度が不十分ながらも、松戸市でも放射能除染を始めました。  
日本共産党は、市民の願い実現に積極的な提案をおこない論戦をリードしました。

## 中学3年生までの医療費無料化を検討

保護者の皆さんと粘り強く取り組んできた子ども医療費の無料化。県の入院助成拡大を受け、「市として通院の拡大を行う考えは？」との質問に、「助成対象の拡大及び、前倒し実施も視野に入れた検討を進める」と市長が答弁。中学校3年生までの年齢拡大と併せ、一回200円の自己負担廃止、窓口での無料化も実現できるよう、今後も粘り強く取り組んでまいります。



写真左から、高木健、伊藤よいちろう、山口正子、高橋たえ子、うつの史行の各議員。



## 10年来の要求でバリアフリー化実施へ

耐震化とエレベーター設計費用の予算化

五香市民センター	今年度耐震化・エレベーター設置工事(2013年3月完成予定)
稔台市民センター	
松飛台市民センター	今年度耐震化・エレベーター設置工事設計委託(2014年3月完成予定)
東部市民センター	
梨香台保育所	

鉄道駅のバリアフリー化

- 五香駅は今年度ホームへエレベーターを設置。
- 常盤平駅南口は、市長に届けた2,031筆の切実な署名を受けて設計費用を予算化。
- JR新八柱駅は今年度バリアフリー化の実設計・準備工事が始まります。5年後の完成をめざします。

## お風呂存続! 全面バリアフリーで常盤平老人福祉センターの建て替え始まる

常盤平老人福祉センターのお風呂は、建て替えに伴って廃止が計画されていましたが、市議会で繰り返し存続を求め、大震災の避難者受け入れでお風呂の必要性が再確認されたこともあり、存続となりました。(来年4月オープン)

## 着実に進む、災害・防犯対策の改善

防犯灯をより環境に優しいLED灯に交換するほか、高齢者・障害者住宅での家具転倒防止金具の取り付け助成制度、「聞こえにくい」と指摘を受けている防災無線の改善が新年度予算に計上され、いよいよ取り組みが始まります。住民の皆さんと一緒に、災害・防犯に強い、安心・安全のまちづくりに力を尽くします。

## 粘り強い運動で一步前進

### 「学校施設の耐震化」前倒し実施

一年前、松戸市教職員組合から提出された「学校耐震化を早く」との請願審査の翌日、3月11日に東日本を襲った大地震。市内の小中学校も亀裂等の被害を受けたにもかかわらず、日本共産党以外の多数の議員は「学校耐震化促進に反対」。しかしその後、2017年完了予定を2年間前倒しする計画が示されました。粘り強い市民の運動の成果です。さらに早期の耐震化を急ぐよう、強く求めました。

## 春木川改修が大きく前進

春木川改修工事は、黎明橋から高暮橋まで完成しました。今年度は、高暮橋から66.5mの地点までを改修する予定となっています。今後、高暮橋から武蔵野線手前の爽やか橋までの416mを、2014年度までに完成する予定です。

どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください

裏面もご覧ください



## ゆきとどいた教育を求める 請願が不採択に

日本共産党は、①少人数学級の実現、②軽度発達障害児への支援、③トイレなどの施設改修・学校耐震化、④林間学園の宿泊費補助、⑤学校事務員の正規職員化、⑥学校のクーラー設置をそれぞれ求めた請願6件について請願紹介議員として採択に力を尽くしました。教育経済常任委員会の審査では、市当局に対する質疑は日本共産党だけで、他党の議員からは「1人で質問しすぎだ」「審議時間が長くなったので質問はやめた」など、的外れな批判が相次ぎ、まともな審議が尽くされないまま日本共産党以外の反対で不採択となりました。

質疑の中で、少人数学級についての教育委員会の見解が「否定するものではない」から「少人数にこしたことはない」と前向きに変化、またプールが地盤沈下で傾いている小学校があり、対応が急がれている実態などが明らかになりました。

少人数学級・学校耐震・クーラー設置…

まつど民報

【市政報告】

2012年4・5月号

日本共産党松戸市議団

TEL 047 (366) 7403

FAX 047 (366) 5915

HPアドレス <http://jcp-matsukama.main.jp/>

メールアドレス [jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp](mailto:jcpmatsudo@earth.ocn.ne.jp)